

# 岡山県産業廃棄物協会 第2次労働災害防止計画

(計画年度：令和2年度～令和4年度)

産業廃棄物処理業における労働災害は、他の業種に比べ発生頻度が高く、危険度も高いことから、当協会では(公社)全国産業資源循環連合会と連携し、平成29年度から3か年間の「労働災害防止計画」を作成し安全衛生活動を実施してきたが、目標を達成できなかった。

については、岡山県内の労働災害の発生状況及び会員の安全衛生活動アンケート調査結果を基に、令和2年度から3か年間の「第2次労働災害防止計画」を次のとおり定める。

## 1. 計画目標

(1) 目標年次 令和4年12月

(2) 目標数値

- ・死亡者数をゼロにする。
- ・休業4日以上死傷者数を平成24年から平成26年の実績平均に比べ20%以上減少する。(24.6人 → 19.6人以下)

(参考) 岡山県内の産業廃棄物処理業に係る労働災害数

区分	平成29年 実績	平成30年 実績	令和1年 実績	令和4年 目標
死亡者数	0人	0人	0人	0人
休業4日以上の死傷者数	31人	20人	26人	19人

厚生労働省岡山労働局資料より抜粋

## 2. 活動目標

活動目標	令和1年 (実績)	令和4年 (目標)
(1) 安全衛生活動アンケート調査の回答数を 20%以上増加	143社	172社
(2) 協会の安全衛生事業を認知している会員 を20%以上増加	128社	154社
(3) 協会の研修会に参加する会員を 20%以上増加	31社	38社
(4) 連合会の支援ツールを認知している会員を 20%以上増加	94社	113社
(6) 安全衛生パトロールを実施している会員を 20%以上増加	100社	120社
(5) ヒヤリ・ハット活動を実施している会員を 20%以上増加	95社	114社
(7) リスクアセスメントを実施している会員を 20%以上増加	65社	78社
(8) 安全衛生規程を作成している会員を 20%以上増加	44社	53社
(9) 安全衛生管理体制を構築している会員を 20%以上増加	108社	130社

## 3. 取組事項

### (1) 普及啓発

- ・会報誌、ホームページ等を通じ、安全衛生意識の高揚を図る。
- ・安全衛生研修会を開催し、会員企業における安全衛生知識等習得の場とする。
- ・ヒヤリ・ハット調査を実施し、結果を会員にフィードバックし啓発を図る。
- ・安全衛生保護具を紹介し、普及啓発を図る。

### (2) 会員活動の支援

- ・全国産業資源循環連合会の安全衛生サイトを紹介する。
- ・全国産業資源循環連合会の啓発資料を配布する。

### (3) 進行管理

- ・毎年、会員企業の活動状況を調査し、翌年の取組みに反映する。
- ・県内における労働災害発生状況の動向を把握し、未然防止策を研究する。
- ・労働安全衛生会において、実効性のある安全衛生事業を検討、実施する。